



突然始まるかもしれない、親の介護。その時、まだ現役で仕事をしている子どもは、どう対応したらいいのか――「介護離職」に陥らないための方法をNPO法人「つながりのかいこ」の川内潤さんに聞きました。（写真は本人提供）

代表理事 川内潤さん

「うちの親は元元だから」「親が倒れたらなんでも考えるのは不謹慎」と思っている人も多いでしょう。親の介護が突然始まれば、私の所見で驚愕で「どうしたらいいの？」と尋ねてくる人の代表例を二つ紹介します。

①自宅から少し離れた所に住む父は、高血圧だが、母と共に定年後の生活を満喫していたところ、突然倒れて救急車で運ばれ、半身まひの状態に。病院からは1カ月ほどでの退院を迫られた。

②遠方で1人暮らしの母。半年前の帰省時は元氣そうに見え、その後の電話でも「大丈夫」と。ところがある日、実家から数ヶ離れた交番から電話が。母が道に迷ったので保護されているという。

状況の細かな違いはあるとしても、働きながら親の介護に直面する人の多くは、二つのケースのどちらかに該当する

どんなに気に入った介護施設でも、住み始めると、本人には不満や要望が出てくるもの、けがや病氣、人間関係、契約上のトラブルも予想されます。

「〇〇してもらえない」という不満や「当初の説明とは違う」といったクレームも出てくる場合があります。本人の思い違ひの場合もありますが、施設側の問題か、身勝手なものか、

「プロに任せ、家族は愛情を」

親は介護してくれる子どもに感謝する一方、本当にむかひのことはどうも仕事を頑張っている姿に思えます。働く人の権利として企業に義務付けられた「介護休業」等を手取りに取れないが、仕事と介護の両立を目指します。

自分の評価や仕事への影響を考え、介護のことを社に言いたくない人は多く、どうしようもない状況になってから打ち明けたら、急に会社を辞めたりするがいます。

うしろもないう状況になってから打ち明けたら、急に会社を辞めたりするがいます。

ケアタウン総合研究所 所長 高室 成幸

「ケアの知識と工夫」

「〇〇してもらえない」という不満や「当初の説明とは違う」といったクレームも出てくる場合があります。本人の思い違ひの場合もありますが、施設側の問題か、身勝手なものか、

仕事と介護の両立

「プロに任せ、家族は愛情を」

親は介護してくれる子どもに感謝する一方、本当にむかひのことはどうも仕事を頑張っている姿に思えます。働く人の権利として企業に義務付けられた「介護休業」等を手取りに取れないが、仕事と介護の両立を目指します。

自分の評価や仕事への影響を考え、介護のことを社に言いたくない人は多く、どうしようもない状況になってから打ち明けたら、急に会社を辞めたりするがいます。

「プロに任せ、家族は愛情を」

親は介護してくれる子どもに感謝する一方、本当にむかひのことはどうも仕事を頑張っている姿に思えます。働く人の権利として企業に義務付けられた「介護休業」等を手取りに取れないが、仕事と介護の両立を目指します。

自分の評価や仕事への影響を考え、介護のことを社に言いたくない人は多く、どうしようもない状況になってから打ち明けたら、急に会社を辞めたりするがいます。

改善につながるように

「ケアの知識と工夫」

「〇〇してもらえない」という不満や「当初の説明とは違う」といったクレームも出てくる場合があります。本人の思い違ひの場合もありますが、施設側の問題か、身勝手なものか、

仕事と介護の両立

「プロに任せ、家族は愛情を」

親は介護してくれる子どもに感謝する一方、本当にむかひのことはどうも仕事を頑張っている姿に思えます。働く人の権利として企業に義務付けられた「介護休業」等を手取りに取れないが、仕事と介護の両立を目指します。

自分の評価や仕事への影響を考え、介護のことを社に言いたくない人は多く、どうしようもない状況になってから打ち明けたら、急に会社を辞めたりするがいます。

「プロに任せ、家族は愛情を」

親は介護してくれる子どもに感謝する一方、本当にむかひのことはどうも仕事を頑張っている姿に思えます。働く人の権利として企業に義務付けられた「介護休業」等を手取りに取れないが、仕事と介護の両立を目指します。

自分の評価や仕事への影響を考え、介護のことを社に言いたくない人は多く、どうしようもない状況になってから打ち明けたら、急に会社を辞めたりするがいます。

「ケアの知識と工夫」

「〇〇してもらえない」という不満や「当初の説明とは違う」といったクレームも出てくる場合があります。本人の思い違ひの場合もありますが、施設側の問題か、身勝手なものか、

仕事と介護の両立

「プロに任せ、家族は愛情を」

親は介護してくれる子どもに感謝する一方、本当にむかひのことはどうも仕事を頑張っている姿に思えます。働く人の権利として企業に義務付けられた「介護休業」等を手取りに取れないが、仕事と介護の両立を目指します。

自分の評価や仕事への影響を考え、介護のことを社に言いたくない人は多く、どうしようもない状況になってから打ち明けたら、急に会社を辞めたりするがいます。

「プロに任せ、家族は愛情を」

親は介護してくれる子どもに感謝する一方、本当にむかひのことはどうも仕事を頑張っている姿に思えます。働く人の権利として企業に義務付けられた「介護休業」等を手取りに取れないが、仕事と介護の両立を目指します。

自分の評価や仕事への影響を考え、介護のことを社に言いたくない人は多く、どうしようもない状況になってから打ち明けたら、急に会社を辞めたりするがいます。

